

様式6

平成24年 / 月 / 日

神奈川県知事 殿

神奈川県新しい公共支援事業運営委員会

会長 萩原 好子

新しい公共支援事業の評価結果報告について

新しい公共支援事業の評価結果報告（平成23年度上半期）を別紙の通り提出する。

【様式6】

別紙

運営委員会による評価結果報告（平成23年度上半期）

1. 事業全体についての評価

・新しい公共支援事業についてはNPO等の関心も高く、各都道府県がそれぞれ工夫した取組みを進めているところである。特に神奈川県においては、従来からNPOなどとの協働の取組みやNPOなどへの支援施策を実施しており、それらの実績を踏まえて、新しい公共支援事業の事業計画を策定したところであり、その成果には大きな期待を寄せている。

・23年度上半期の終了時点では、多くの事業が事業者の選定を終えた段階であるため、この段階で全体の評価を行うことは難しいが、モデル事業をはじめとして、様々な企画が提案され、県内におけるNPOの活動の多様さをうかがわせるものとなっている。

・今回、多くの事業企画の中から選定された事業は、いずれも新しい公共の担い手となるNPOの能力を活かし、拡大させていくものと思われることから、県に対しては、これらの事業企画が円滑に進むよう支援するとともに、それらの成果を広く県内のNPO等に広く還元されるようにすることを要望する。

・なお、選定に際しては、運営委員会での選定の前段として、運営委員会幹事会による事前審査を行うなど、慎重かつ丁寧な審査を行っていることは、特筆すべきことである。また、審査を行うに当たっても、公開の場でのプレゼンテーションを行うなど、開かれた仕組みとなっていることは評価する。引き続き県民、NPOなどへの透明性を確保して事業を進めていただきたい。

2. 各事業に係る評価

(1) 活動基盤強化プログラム事業

・Vision, Mission作成応援プログラムをはじめとする3事業の事業者を選定した。引き続き支援対象となるNPO等を募集し、各事業を速やかに実施することを求める。

(2) 多様な主体による交流促進事業

・横浜・川崎及び横須賀三浦地域をはじめとする4地域の事業者を選定したことにより、速やかに事業を実施することを求める。

(3) 寄附促進に向けたNPO認知度向上事業

・視覚的効果の高いロゴマークを制作したことで、今後の各種メディアを活用した広報に活用することを期待する。

・双方向Webサイトの構築などについては、事業者を選定したことにより、速やかに事業を実施することを求める。

(4) NPO提案型活動基盤強化事業

・中間支援組織等による事業企画を選定した。引き続き支援対象となるNPO等を募集し、各事業を速やかに実施することを求める。

(5) 神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業

・第1回締切り分として6件の事業を選定した。各事業とも地域の特性を活かした事業であり、また、震災対応案件もある。事業の成果を期待する。